

Ⅲ 教育部会報告（部会長 渡邊俊輔）

1. 宮崎県水辺環境調査指導者養成研修(宮崎県環境管理課 委託事業)

ふるさとの自然が多様で豊かな川を次世代に引き継いでいくため、地域や小中学校向けに環境教育の一環として実施している「五感を使った水辺環境調査」を、指導者の立場から学習する育成研修を開催した。育成研修修了後には、宮崎県の「水辺環境調査指導者」として登録し、申込があった水辺環境調査に対して派遣した。

実施日 令和4年6月25日(土) 予備日：7月2日(土)

場 所 座学:綾ユネスコエコパーク研修室 実習:綾町松原自然公園 本庄川

参加人数 12名 登録者数 8名



2. 大淀川環境保全クラブ育成事業(宮崎市環境政策課)

大淀川の保全活動をとおして、自然環境や生態系の維持を図るための学習を行う。併せて、クラブ生徒が身近な些細なことでも環境保全が率先して行える人物、また、将来的には環境保全活動の指導者的な人物へと成長していくことを目的として6回実施した。

参加者：小学4年生～6年生 24名

【第1回】開校式・水辺環境測定

実施日：8月21日(日)

内 容：開校式を行って全体内容の説明をした後、生き物のすみかの環境調査の方法を学んで、天満橋下に移動して小川で調査し、水生植物の観察をした。



【第2回】植物編①希少な水生植物の保全

開催日：9月11日(日)

内 容：川の生き物のつながりを学び、天満橋下の小川に生育する希少植物の保全方法を考えて、天満橋下で実施した。カメラで水辺の生き物の様子を観察した。



【第3回】植物編②希少な植物の保全とまとめ

開催日：9月25日(日)

内容：第2回の保全成果を観察し、振り返って考えて追加実施した。植物編をまとめた。



【第4回】動物編①水辺の動物調べと小魚の放流

開催日：10月9日(日)

内容：水辺にすむ動物を調べる方法について考えて、天満橋下の小川と砂州で実施した。小魚を放流した。



【第5回】動物編②水辺の動物調べとまとめ

開催日：11月13日(日)

内容：第4回の動物調べの成果を観察し、振り返って考えて追加実施した。動物編をまとめた。次回の発表内容を考えた。



【第6回】成果の発表・修了式

開催日：12月11日(日)

内容：希少な植物保全の実施した結果と、水辺の動物調べの結果をみんなで発表した。その後、修了式を行った。



3. 掘削予定砂州に生息する絶滅危惧植物の保全

大淀川では、河川整備計画の改修による砂州の掘削が令和2年から始まっています。この砂州には、保全活動を行っているタコノアシの他にも様々な絶滅危惧種が生育しているため、移植と競争種の除草を計画して実施しました。また、晩秋に水辺観察会を開催し、紅葉するタコノアシの群落や、天満橋下の砂州にすむたくさんの生き物や植物を観察して、治水と環境保全が調和する川づくりの重要性を広報しました。

【保全活動】

実施日：令和4年5月29日（日）、7月23日（土） 9時30分～11時

活動場所：大淀川右岸 天満橋下付近 河川敷

参加人数：一般、宮崎総合学院、宮崎河川国道事務所、大淀川流域ネットワーク 計203名



【観察会】

実施日：令和4年10月23日（日）

活動場所：大淀川右岸 天満橋下付近 河川敷

参加人数：宮崎市内の小学生と保護者、一般 計20名



昨年度に制作した「大淀川の生き物小図鑑」が好評だったため、今年度も内容を加筆・再編集した第2版を140部発行し、観察会の参加者全員にプレゼントしました。

大淀川下流域の代表的な絶滅危惧種

生き物の中で現在生存している数が減って絶滅のおそれがある種は、絶滅の恐れが心配されています。下に示した写真は、大淀川下流域に生息する代表的な絶滅危惧種です。

クマシダ	カワヂシャ
生息地 河川敷の浅瀬。水深が40～60cmの浅瀬で、葉は長さ10cm程度に達し、花は黄色い。葉の裏面に黒い斑点がある。葉の裏面に黒い斑点がある。葉の裏面に黒い斑点がある。	生息地 河川敷の浅瀬。水深が10～50cmの浅瀬で、葉は長さ10cm程度に達し、花は黄色い。葉の裏面に黒い斑点がある。葉の裏面に黒い斑点がある。
生息地 河川敷の浅瀬。水深が10～50cmの浅瀬で、葉は長さ10cm程度に達し、花は黄色い。葉の裏面に黒い斑点がある。葉の裏面に黒い斑点がある。	生息地 河川敷の浅瀬。水深が10～50cmの浅瀬で、葉は長さ10cm程度に達し、花は黄色い。葉の裏面に黒い斑点がある。葉の裏面に黒い斑点がある。

4. 宮崎市環境学習パートナー派遣

宮崎市環境政策課から環境学習パートナー派遣事業の依頼があり、3件を担当しました。

- ① 実施日：令和4年7月4日（月）
参加者：宮崎市立内海小学校 子ども14名、大人5名
内 容：五感を使った水辺環境調査
- ② 実施日：令和4年7月6日（水）
参加者：うちやまこども園 子ども19名、大人6名
内 容：ミニ地球づくり
- ③ 実施日：令和4年9月1日（水）
参加者：宮崎市立大宮中学校 子ども6名、大人3名
内 容：五感を使った水辺環境調査



5. 宮崎市環境学習指導者養成講習会の講座を担当しました

宮崎市環境政策課から、宮崎市学習指導者養成講座の第3回水辺環境調査において、水辺環境調査をテーマとした講座の講師を担当しました。

開催日：令和4年9月10日（土）

場 所：知福川

また、上記講習会修了者の実習として開催された、令和4年度 宮崎市こども自然体験教室「水辺の生き物や水環境について調べてみよう！」においても講師を担当しました。

開催日：令和4年10月8日（土）

場 所：知福川



考察

環境教育の一環として「五感を使った水辺環境調査」を実施しているが、指導者の育成研修も開催できた。

大淀川環境保全クラブ育成事業では、自然環境や生態系の維持を図るための学習、将来の環境保全活動の指導的立場に成長することを期待して、現地での調査・カヌーを使っでの観察・調べ学習等を通して成果を上げることができた。

絶滅危惧植物の保全活動では多数参加をもらい治水と環境保全が調和する川づくりの重要性を広報できた。

また参加者に配布した「大淀川の生き物小図鑑」も好評を得ている。

今後も宮崎県、宮崎市他からの依頼を受けた事業のみにとどまらず、小・中学校、こども園等の希望にも応えて環境教育に目を向けた学習支援、指導を積極的に進めていきたい。